



# やまなし

第79号 2012年3月7日(年3回発行)

## 巻頭言

### 「段階を超える時」

健康科学大学  
佐藤 真一

過日オーストラリアのメルボルンで行なわれた全豪オープンテニスで、日本人として80年ぶりにベストエイトに勝ち進んだとして22歳の錦織圭がニュースの話題となっていた。日頃テニスを楽しむ私にとってはうれしいニュースであった。若者が自ら生まれた地域のみでなく広い視野を持ち、そこに活路を見いだす、素敵なことである。そのためには当たり前であるが、日頃の練習の積み重ねは想像に難くない。

私の経験からで申し訳ないが、スポーツで自分自身の再発見ができる事を皆さんご存じですか？試合などでまさに追い詰められた時にこそ”こんな事ができる自分がいた”と自分の知らなかった自分自身が見えてくる。そんな経験ありませんか？極限に立たされ自分の知らなかった自分が見えて来た時、ひとつの段階を登る自分がそこに現れるように・・・。そのためには日々の練習の中で確実に一つ一つ成すべき事を仕上げてゆく事が大切なのです。

翻ってOTとしての仕事を考えるに、目前の患者・利用者さんと毎日真剣勝負しています。病名や怪我の部位は一緒でもそれぞれの患者さんは別人で、経歴も病歴も違ってOTとしては、すべてにおいてオーダーメイドの治療を行なっています。(ここで言う治療は疾患・疾病を医学書をひもとく場面から実施、サマリーを書き治療のまとめまで含めて)言うなれば毎日毎回極限に立たされOTとしての仕事をしています。また表に出ないところでも、治療のための準備や新たな知見の修得も日々行なっていると思います。こういった中での経験も重要ですが一症例ごと<sup>ごと</sup>にまとめてゆくことで、OTとして一段階登る自分が見えて来る。それがそれぞれの患者さんに還元出来ることで、今以上のOT全体のレベルアップに繋がり、社会からの要請に<sup>こた</sup>えて行けると考えています。

今年の診療報酬と介護報酬の大きな改定がおぼろげながら見えています。また山梨県作業療法士会も皆様のご協力のもと法人格を取得できました。これらをチャンスとして大きな飛躍の年となるよう期待しています。

## もくじ

1p	巻頭言
2p	学会に向けて
3p	身障だより
5p	精神科だより
7p	施設紹介
9p	理事会だより
11p	広告
14p	一般社団法人山梨県作業療法士会入会手続きについて

## —第5回 山梨県作業療法学会に向けての活動報告—

第5回山梨県作業療法学会 事務局長  
石和温泉病院 土居 正和

春の息吹が聞こえてくるかのような今日この頃、暖かい季節の到来の予感に身も心も綻び時期となりました。さて、来たる4月15日（日）、第5回目となる山梨県作業療法学会（以下 OT 学会）を開催する運びとなりました。第3回 OT 学会から運営部員として携わってきた私としましては、文頭では『第6回』と記載したかったというのが正直な気持ちです。

前年3月11日、日本に未曾有の被害と深い悲しみをもたらした東日本大震災。全国民が東北の支援に奔走する一方で、計画停電の際は町中が氷を打ったように静まり返り、別の国に迷い込んだような錯覚に陥りました。必然的に前年度の OT 学会は自粛を余儀なくされ、事務局長として学会の成功に向けて積み上げてきたものが一気に崩れたようで、一時期は歯噛みする思いをしました。しかし同時に、メディアを通してではありますが、人と人が支え合い、復興に向けて立ち上がる姿から、より一層人の強さと絆を感じられたような気がしました。

震災から約1年。今回は前年度の意思を引き継ぐと共に、気持ちを新たに OT として更なる飛躍を目指すことを旨とし、学会のテーマを『挑戦～活躍の場を広げよう～』としました。学会運営部員は総勢44名で構成されており、事務局・企画局・運営局・編集局という4つの運営部を軸として、OT 学会に向けて準備を進めています。ほとんどの運営部員および発表演者・講師が前年度から引き継いでおり、講演依頼や学会プログラムの作成・立案、冊子の編集などを行う中で、前年度の分まで盛り上がるような活気溢れる学会にしようと、会議では積極的な意見が飛び交っています。

今年度は特別講演に日本作業療法士協会常務理事の土井勝幸先生をお招きし、地域支援の視点から『挑戦』について一緒に考えていければと思います。また、特別講演に先立って、日本作業療法士協会会長である中村春基先生より“協会における震災支援活動の在り方”をテーマに講演していただく予定です。

更に、一般演題を16演題行う他、身障、精神、地域、訪問それぞれの分野の教育技術講座を予定しています。

第1回 OT 学会では約200名だった参加者も回数を重ねるごとに増加していき、第4回では300名もの参加者を数えるほどになり、それに伴い一般演題数の増加や機器展示の充実など盛況さを増してきました。もはや、県内で活躍する OT が一堂に会する重要な大会と言っても過言ではありません。この機会に、多くの OT との意見交換を経て、OT としての可能性を再発見し、様々なことへの挑戦を考えられる機会になればと思います。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております！！

## 身障だより

健康科学大学クリニック  
三神 ちあき

健康科学大学リハビリテーションクリニックは富士河口湖町に位置しています。河口湖畔から近く、施設からは富士山も一望でき、紅葉や雪景色など四季折々の景色を富士山の麓で楽しむことができます。

当施設はリハビリテーションを中心とした診療部（整形外科・内科・小児神経科・リハビリテーション科）と在宅ケア部（短時間型通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション）から構成されています。

リハビリテーション科はPT5名（+非常勤3名）、OT5名（+非常勤2名）、ST1名で、OTは経験年数が浅いメンバーばかりではありますが、よりよいリハビリテーションを提供するため日々努力しています。



OTの主な対象疾患としては、脳血管疾患の方、骨折などの整形疾患の方、発達障害や脳性麻痺などの小児疾患の方と、疾患も年齢層も幅広くなっています。ここで、各部門を簡単に紹介させていただきます。

### 外来リハビリテーション

主に整形疾患の方を対象としたリハビリテーションを行っています。通院されている方は地元の方がほとんどで、患者様との会話から生活の様子をお聞きし、訓練に反映していくことが多くあります。PT・OTの職種問わずスタッフ全員で患者様に対して訓練を行っているため、OTメンバーが膝・腰の整形疾患の患者様を担当することも少なくありません。（PT・STスタッフと連携しながら勉強の日々です!!）



リハビリテーション

## 小児リハビリテーション

脳性麻痺などの肢体不自由児や自閉症などの広汎性発達障害のお子様など、発達の遅れが気になるお子様に対して個別でのリハビリテーションを実施しています。(当施設ではOTの活躍頻度が高いです!!) 0歳児から20歳代と年齢層も幅広く、遊びや運動を通して幼稚園や学校などでの自立した活動が出来るよう支援しています。



小児リハ室



机上活動で使用する玩具た

## 通所リハビリテーション

当施設は短時間型(1時間以上2時間未満)通所リハビリテーションを実施しています。利用定員も8名と小規模ではありますが、集団体操や個別リハを通して利用者様の生活機能の向上を目指して奮闘しています。リハスタッフが送迎に出向くこともあり、訓練場面だけでなく車の中の利用者様との会話も、人生経験の浅い私達にとってはためになることばかりです。

## 訪問リハビリテーション

富士河口湖町・富士吉田市を中心に訪問リハビリテーションを実施しています。外来診療とは異なり、利用者様の実際の生活空間で訓練することで「その人らしさを引き出すためにはどうしたらいいのか?」などを日々考え、より安心・安全に生活して頂けるように努力しています。



OTメンバーはまだまだ経験も浅く、周囲の皆様にご指導して頂くことも多くありますが、関わらせて頂くすべての患者様がよりよい生活を送れるようスタッフ全員で努力していきたいと思えます。今後とも、健康科学大学リハビリテーションクリニックをどうぞ宜しくお願い致します。

## 精神科だより

### 農力アップ

公益財団法人 住吉偕成会 住吉病院  
作業療法室 本庄 美香

昨年の5月、担当している患者さんのご家族（以下オーナー）から「畑や道具を貸すから、みんなで作物作ったり、色眺めたりしてみない？外に出て体動かしたり、自然に触れるだけでも病気が良くなるかもしれないよ。」と誘われ、とんとん拍子に話がまとまり、OTの活動としてプログラムに取り入れることとなりました。

全く農業の知識もない状態でしたが、とりあえずやってみようと思い、OTを利用している患者さんやデイケアメンバーに声をかけました。

声をかけたところ大勢の方が興味を示し、まずは長靴を買うところから全員で準備を始めました。メンバーの中には、家業で農家をしているが、自分は手伝わず見ていたという方、昔家に畑があって手伝った思い出があるが、詳しくはないという方がおり、頼もしいような頼もしくないようなうろ覚えの知識を頼りに準備を進めました。買い物と同時に畑の見学を重ね、徐々に畑への意欲が盛り上がってくる感覚がありました。

畑は周囲を田んぼに囲まれた自然豊かな場所にあり、景色は抜群です。山を見て「あれは甲斐駒、あれは北岳」などという会話も飛び交い、畑の中をカエルがびよんびよん飛んでいるのを追いかけて転んだり、特に道具はなくても自然を相手に沢山の豊かな感情が湧いてくるようなところ。畑のオーナーさんからの「病気が良くなるよ。」という言葉がとてもしっくりくるようなところ。

実際に畑を始めてみると、道具の使い方から、知識から、素人の集まりといった感じで、加えて畑の土の質も悪く、体力だけを消耗していくような作業が続いていきました。普段体力仕事とはかけ離れた生活を送っているメンバーさん達は、スタッフ以上に体力の消耗が激しく、「昔はこんなじゃなかったのに。ほんと体力なくなっちゃったなあ。」「それでも昔は土方の仕事していただよ。」などの嘆きもありました。それでも脱落するメンバーは少なく、秋にはサツマイモを食べたいから育ててみようなど、収穫の喜びを得るための苦労は惜しまないといった感じでした。知識についても、知識は農業にとってとても大切なことであることを痛感し、「より詳しい人に聞く。」という方法を選択し、メンバーそれぞれが知り合いを当たったり知識を仕入れる行動を起こしました。家族会にも相談し、収穫した作物で料理を作り、どうしたら美味しい作物が作れるのか相談させて頂きました。こういう行動が実を結び、あちこちから沢山の知識が集まりました。無料で相談できる県のサービスを教えてくれた方、肥料の配合を教えてくれた方、農業以外にもなぜか酪農を教えてくれた方、沢山の方々に愛されて、どの知識を採用するのか吟味できるほどになりました。スタッフはメンバーの意欲や力をサポートできるように、出来るだけメンバーの力で運営していけるように目指していきました。

畑が周囲に認識されてきたころ、新しい仲間が畑に加わってきました。健康科学大学のOTの学生さんが毎週ボランティアで畑に参加してくれることになりました。朝早くから河口湖を出て、午後の授業に急いで帰るという強硬スケジュールですが、嫌な顔せず参加し、メンバーさんと打ち解けていく様子がとてもほほえましいです。今では学生さんと話をすることを楽しみにしているメンバーが多く、若者同士の話にくわを持つ手も止まり、くわにもたれて話に夢中・・・そんな素敵な交流が見られます。私は今日も「農コン」ですねとひそかに思っています。

まだ半年足らずの農業ですが、こうして振り返ってみると周囲のサポートにとっても助けられたこと、メンバーの明るさに助けられたことを感じます。畑を始める前の私は、患者さんと共に成長するという感覚がなく、自分が先頭に立って運営していかなければならないという想いの方が強かったと思います。しかし初めての農業、知識ゼロのスタートは初めての経験であり、おのずとメンバーに「私も分からない、どうしたらいい?」と聞くこと・頼る事が多く、“共に考えて成長していく”とはこのことではないかと最近感じます。困った・疲れた・もう嫌だ・楽しい・嬉しい・・・色々な感情を素直に表現し、共有出来る畑。自然の中で心が開放されて素直になっていくことに今はとても魅力を感じています。先日メンバーさんに、「耕す姿がさまになってきてるよ。」と声をかけられました。素直に嬉しく思い、ありがとうと言える活動に出会えたこと、また多くの仲間が出来たことに感謝しつつ、今年も畑で起こるドラマを楽しみたいと思います。今年も更なる「農力アップ」を目指して健康で楽しく活動できることを目標にしたいと思っています。



住吉病院院長のブログにも「畑通信」として畑のリアルな活動が掲載されています。興味のある方は是非ブログものぞいてみてください。

## 施設紹介

医療法人笹本会 おおくに訪問リハビリテーション  
井上智子

所在地：山梨県甲府市古上条町 446

TEL：055-243-1717 FAX：055-243-1711



### <基本理念>

たゆまぬ医療技術の改善、向上を積極的に図り地域の皆様に提供して参ります。生活圏域の中で、医療サービスと通<sup>かよ</sup>って、泊まって、住めるという介護サービスを一体的、総合的に提供できる拠点を設置して参ります。いつの時でも、地域の皆様をよく知り、理解し、意欲を引き出し、自律を促し、潜在的な力を発揮できるように支援して参ります。

### <経営理念>

医療法人笹本会は、地域の皆様が安心して医療を受けられるよう医療に携わる者としての誇りをもって努めます。高齢者の皆様が住みなれた環境の中で、安心して暮らせるよう介護に携わる者としての心をもって努めます。

リハビリテーション職員の配属は、おおくに訪問リハビリテーション事業（常勤OT3人、PT3人、非常勤PT1人）、おおくに通所リハビリテーション（常勤PT1人、非常勤PT1人）、おおくにいきいき通所介護（OT1人）、おおさと通所介護（常勤OT1人、非常勤PT1人）、笹本整形外科（PT1人）となっています。それぞれの事業所で、介護職、看護職などとともに専門職としての役割を果たす努力をしています。

作業療法士の配属となっている事業所についてご紹介します。

<おおくに訪問リハビリテーション>

要介護・要支援の利用者様を対象に訪問を行なっています。訪問看護ステーションからの訪問も兼務しています。それぞれの状態に応じたリハビリテーションを住み慣れた自宅環境の中で行ない、より良い生活を送れるように支援しています。

<おおくにいきいき通所介護、おおさといきいき通所介護>

要介護の利用者様を対象にしているデイサービスです。おおくにいきいき通所介護では、特に日常生活動作の自立度が高い方、おおさと通所介護では、より日常生活動作に支援の必要な方を対象としております。作業療法士は、機能訓練士として個別の運動や集団体操などを実施しています。

最後に、これからも、県士会活動や研修会に積極的に参加させて頂きたいと思っています。今後とも、医療法人笹本会をよろしくおねがい致します。



通所介護での集団体操場面





## 理事会便り

### 平成23年度10月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年10月13日(木)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、佐藤、長坂、宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；12名

#### 1. 会長(山本)

1) 平成23年10月12日(水)に開催された高次脳機能障害支援モデル事業連絡ネットワークに出席。

#### 2. 副会長(広田・古屋)

1) 健康長寿やまなしプラン計画策定検討委員会に出席。

#### 3. 事務局(三瀬)

1) 第48回作業療法全国研修会を平成23年9月18日(日)19日(月)に開催。参加者421名。

2) 日本作業療法士協会より協会表彰の推薦依頼あり。県士会より高橋栄子(富士温泉病院)、渡辺ひろみ(山梨県立あけぼの医療福祉センター)、平松洋子(甲府共立診療所)、原京子(峡西病院)、近藤知子(帝京科学大学)の功労表彰推薦を行った。

#### 4. 社会局(宇野)

##### <事業部>

1) いきいきねりんピックが平成23年9月24日(土)に開催。県士会より6名が参加した。

#### 5. 学術局(松田・青木・工藤)

##### <企画研修部>

1) 日時：平成23年10月17日(月)  
テーマ：生活を通して子供の発達を促そう～子どもの能力が評価できれば、生活場面は治療場面に変えられる～  
講師：大島隆一郎氏(東京工科大学 医療保健学部)

参加者：125名

##### <生涯教育部>

#### 1) 現職者選択研修会

日時：平成23年10月9日(日)

テーマ：老年期の基礎知識

講師：守口恭子(健康科学大学)

テーマ：介護老人保健施設における老年期障害作業療法

講師：大久保寿美(介護老人保健施設 NAC 湯村)

テーマ：老年期障害作業療法における環境設定

講師：河野進(石和共立病院)

テーマ：認知症に対する作業療法

講師：内藤貞美氏(聖パウロ病院)

参加者：33名

##### <福祉用具委員会>

#### 1) 福祉用具委員会主催研修会

日時：平成23年10月12日(水)

テーマ：自助具～基礎編～

参加者：123名

##### <災害対策準備委員会>

#### 1) 日時：平成23年10月7日(金)

テーマ：大規模災害の経験から

講師：水越裕之氏(新潟県作業療法士会)

参加者：86名

### 平成23年度11月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年11月24日(木)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、川崎、中村、三瀬、長坂、宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；13名

#### 1. 会長(山本)

1) 自由民主党県連支部より県施策及び予算編成に伴う要望書について受託。それに対し県士会として要望書を提出するとともに、11月15日(火)にヒアリングに出席。

## 2. 事務局 (三瀬)

- 1) 全国訪問リハビリテーション研究会より、地域研修開催にあたり講師依頼があり、受託。

## 3. 社会局 (宇野)

### <渉外部>

- 1) 山梨県立介護実習普及センターより、介護職員指導者研修の講師依頼を受託。講師は河野 順一 (介護老人保健施設いちのみやケアセンター)

## 学術局 (松田・青木・工藤)

### <生涯教育部>

- 1) 現職者共通研修  
日 時：平成23年11月8日 (火)  
テーマ：事例検討方法論  
講 師：黒崎真樹 (健康科学大学)  
参加者：45名

## 平成24年度1月期 山梨県作業療法士会理事会

日 時：平成24年1月12日 (木)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、川崎、中村、三瀬、佐藤、長坂、宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；14名

## 1. 副会長 (広田・古屋)

- 1) 山梨県リハ関連4団体による合同研修会について  
日 時：平成24年2月29日 (水)  
テーマ：2012年診療報酬・介護報酬同時改定に向けて

講 師：石川誠氏 (初台リハビリ病院)

## 2. 事務局 (三瀬)

- 1) 日本作業療法士協会より「平成23年度老人健康増進等事業生活行為向上マネージメントの普及啓発と成果測定研究事業 普及啓発説明会への派遣依頼」を受託。古屋豊美 (山梨厚生病院)、佐藤真一 (健康科学大学) を推薦。
- 2) 平成23年12月15日 (木) 臨時総会を甲府城南病院にて開催。出席者86名、委任状238名全ての議題の承認を得た。

## 3. 保険局 (長坂)

- 1) 日本作業療法士協会保険局から、被災地における医療と介護についての資料を受託。

## 4. 学術局 (松田・青木・工藤)

### <生涯教育部>

- 1) 現職者選択研修  
日 時：平成23年11月27日 (日)  
テーマ：発達障害領域の今後の課題と展望  
講 師：辻薫氏 (大阪発達総合療育センター)  
テーマ：発達障害領域の作業療法の評価・治療の視点と基礎知識  
講 師：大島隆一郎氏 (東京工科大学)  
テーマ：作業療法の実際①  
講 師：平松洋子  
テーマ：作業療法の実際②  
講 師：渡辺ひろみ (あけぼの医療福祉センター)

SAKAimed

急性期からの ＊  
ハンドセラピーを  
お手伝いします。

＊ スプリント ＊

● 酒井医療株式会社  
西東京営業所  
Tel: 042-330-7621  
www.sakaimed.co.jp

**義肢装具をはじめ、車椅子、介護用品（入浴・排泄用品等）まで幅広くみなさんをサポートします。**

義肢装具

車いす

入浴用品

取扱商品	
● 車椅子	● 歩行支援用具
● ベッド関係	● 日常生活機器
● 排泄用品	● 衣類
● おむつ	● 靴
● 自助具	● 杖
● 入浴補助用具	● 食事用品

**福祉用具のレンタルも行っていきます**

販売店 **エドセンター-山梨**

川村義肢株式会社

山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188  
TEL 055 (262) 9630 FAX 055 (262) 0787

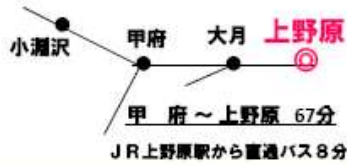
山梨県指定介護保険事業者  
(福祉用具貸与・販売・住宅改修)

# 医療科学部 作業療法学科

## 新しいコラボレーションに挑戦!!!



【上野原キャンパス】  
山梨県上野原市八ツ沢2525



いのちをまなぶキャンパス  
**帝京科学大学**  
0120-248-089  
入試専用ダイヤル

新時代の医療・福祉・心理の専門家を目指して



2011年度  
オープンキャンパス日程

- 2011年  
7/23 (土)  
8/ 9 (土) 8/27 (土)  
9/11 (日)  
10/15 (土)  
2012年  
3/24 (土)



# 健康科学大学

<http://www.kenkoudai.ac.jp>

所在地: 〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立7187 お問い合わせ 入試広報課 tel.0555-83-5240



- 理学療法学科  
Department of Physical Therapy
- 作業療法学科  
Department of Occupational Therapy
- 福祉心理学科  
Department of Welfare and Psychology

居宅介護支援、通所介護、訪問介護  
福祉用具貸与・販売、住宅改修

やさしさ・おもいやり・・・

**GC** (有) **グットケア**  
GoodCare, LTD

住吉本部 甲府市住吉4-6-24 TEL:055-236-6006  
＜事業所:朝気、東光寺、千塚＞

屋形調剤薬局(提携先)  
甲府市中央2-8-17 ☎055-223-3738



介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド  
介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい・・・

**株 サンカイゴ** 

EST.1992 SunKaigo

中央店 中央市中橋91-1 電話:055-274-1152  
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 電話:055-251-2528



### 一般社団法人 山梨県作業療法士会設立に伴う入会手続きについて

この度、平成24年2月1日付けで一般社団法人山梨県作業療法士会を設立し、山梨県作業療法士会は平成24年5月31日をもって解散することとなりました。

すでに入会手続きの書類につきましては事務局より送付させて頂いているため、一般社団法人山梨県作業療法士会の目的にご賛同頂き、ご入会手続きをお願い致します。入会においては山梨県作業療法士会から一般社団法人山梨県作業療法士会へは会員の自動移行となりませんので、必ず入会手続きをお願い致します。

#### 連絡・送付先

一般社団法人 山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部 作業療法科内

FAX : 055-241-8660 (代) TEL : 055-241-5811 (代)



#### 編集後記

寒い冬が終わったら花粉が飛び出す季節へ。今年は例年の6・7割位とか... (米)

今年はいつよりも寒い気が... それにつられて灯油の消費量が... (つ)

今回再び復帰しました。よろしくお願いします。(河野)

今年度は、2回の本腰を入れたダイエットが成功しました！こう見えても、来年度もいろいろなことに挑戦していきたいと思えます (ふ)

今回から広報部に入りました。頑張りたいと思います。よろしくお願いします (金田)

大月駅云に出ました...そして運動不足を痛感しました。(今泉)

医療・介護の同時改定...。しばらくは色々な対応に追われるだろうけどがんばらねば...。(い)

10Kg以上太り、先日ケーシーのボタンが飛び、正座をしたら膝の辺りが裂けました。頑張らなくて夏に向けてやせませう (精進)

初めて、スノボのスクールへ半日入学。「いいよ～いいよ～」と褒められてニンマリ。ハマリそうです。(内)

発行人：山本 伸一

編集人：佐藤 真一・飯野 知一・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香・今泉 隼・金田 勇一・精進智規

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

しらゆり訪問看護ステーション 〒400-0114 山梨県甲斐市万才 287 TEL 055-276-1155

FAX 055-279-1262

印刷所：(株) 島田プロセス〒409-3867 山梨県中巨摩郡清水新居 1534 TEL 055-233-8829